

## □エコセンタープロジェクト（琵琶湖湖畔活用エコツーリズム事業）

### 1. これまでの経過

エコセンタープロジェクトは、大津市中心市街地活性化基本計画における「琵琶湖湖畔活用エコツーリズム事業」を具体化するため、大津市中心市街地活性化協議会に位置づけられた組織である。琵琶湖における集客機能の強化、またその波及効果によるまちなかの活性化に向けて、これまで3回の議論を行ってきた。以下にその経過を示す。

#### <第1回:平成20年3月17日>

琵琶湖やまちなかの歴史・文化を活用して、エコセンターというコンセプトのもと、どのような集客を図ることができるのか検討を行った。

参加者 17名

協議内容

- ・エコセンターのイメージ
- ・エコセンターの取り組み
- ・エコロジカルな取り組み事例紹介

#### <第2回:平成20年4月18日>

各委員からの提案を受けて、どのようなプログラムが可能であるのか、またエコセンターの情報発信等について事例をもとに検討を行った。

参加者 18名

協議内容

- ・エコセンターに関する各委員からの提案  
(びわ湖ホールとの連携、ロハス・大人の環境学習、こだわり野菜市開催など)
- ・ホームページを活用した体験学習など情報発信事例紹介

#### <第3回:平成20年5月14日>

今後の取り組みイメージを共有するとともに、拠点となる施設についての提案を紹介し協議を行った。

参加者 17名

協議内容

- ・モデルプログラム案
- ・湖の駅プロジェクト案
- ・湖岸プロムナード案

#### <第4回:平成20年12月2日>

第3回で提案のあった「湖の駅」事業について意見交換を行い、協議会への報告事業を確認した。

参加者 15名

協議内容

- ・これまでの経過報告
- ・湖の駅事業の提案
- ・協議会への報告事項

## 2. 現在検討中の具体的な事業等

### (1) エコセンターコア・湖の駅整備事業

- ・事業主体 琵琶湖汽船株式会社
- ・事業概要 場所：アーカス2F吹抜け広場（フェスティバルコート）  
機能：エコセンターコア、地元農産品・加工品の販売、地元食材を使った屋台形式フードコート、イベント・休憩スペース  
面積：実質売場面積 400 m<sup>2</sup>程度 全体：約 1000 m<sup>2</sup>
- ・実施時期 平成 21 年度
- ・事業の位置づけ 地元農産品・加工品の販売及び地元食材による飲食機能を持った拠点整備を行うことで、新しい観光方法の提案と販路拡大を狙うものであり、「琵琶湖を生かす観光と環境共生のまちづくり」を目標とする、中心市街地の活性化に必要な事業。
- ・道の駅を参考事例とした売上及び来客予想
  - 売上予想 4 億円（100 万円/m<sup>2</sup>）
  - 来客予想 20 万人（客単価 2,000 円として算出）

### (2) びわ湖まちなかエコツーリズム事業

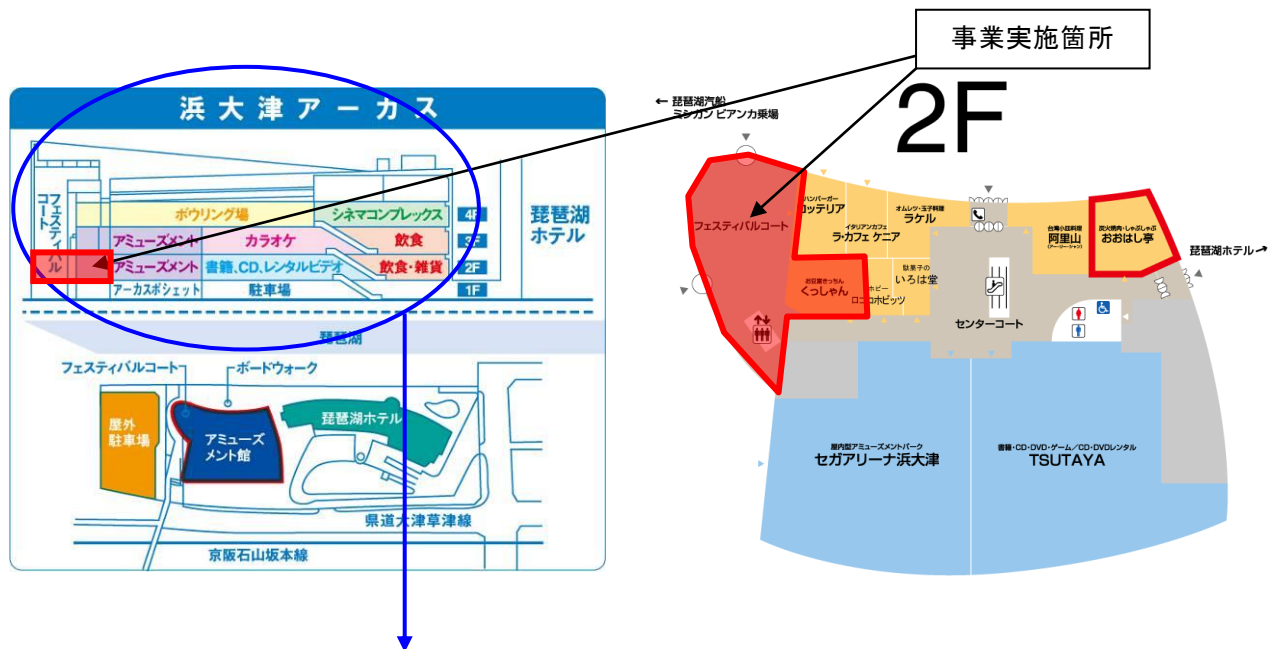
- ・事業主体 実行委員会
- ・事業概要 中心市街地を拠点としつつ琵琶湖の自然環境と大津百町や大津の歴史を楽しく体験しながら学ぶエコツーリズムを実施する。
- ・実施時期 平成 20 年度
- ・事業の位置づけ 琵琶湖湖畔やまちなかや大津の持つ歴史的資源を活用しながらエコツーリズムを展開し、新しい観光方法の提案と販路拡大を狙うものであり、「琵琶湖を生かす観光と環境共生のまちづくり」を目標とする、中心市街地の活性化に必要な事業。



## ■ 浜大津アーカスの概要と事業スキーム

### ・施設概要

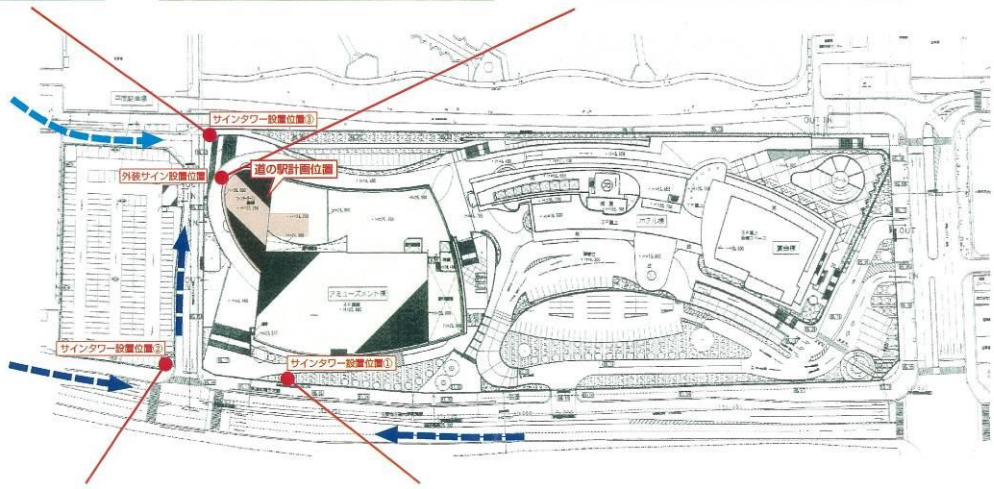
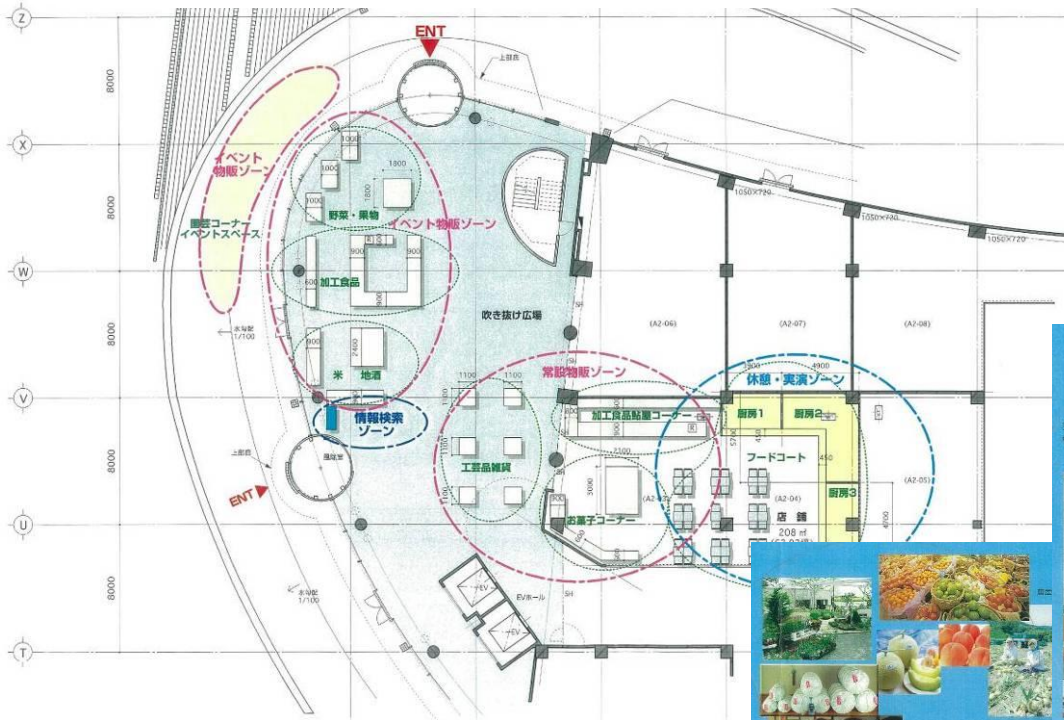
■ 施設名称	浜大津アーカス
■ 所在地	〒520-0041 滋賀県大津市浜町2番1号
■ 交通	京阪電車 京津線 石山坂本線 浜大津駅下車すぐ
■ 建物用途	複合娯楽施設
■ 竣工年月	平成10年4月23日
■ 駐車場	450台
■ 構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上5階建
■ 備考	・敷地面積 32,033.71㎡(ホテル含む) ・延床面積 26,662.99㎡(アミューズメント館のみ)



### ・事業のスキーム

浜大津アーカス4階にテナントとして入居する琵琶湖汽船株式会社が、浜大津アーカス全体を自己資金で購入し、現在空き店舗である部分を補助金活用により改修し、施設リニューアルを行う。そのことにより、テナントの入れ替えを進め、集客力の高い施設にすることで、中心市街地の活性化に寄与する。

# ■エコセンターコア湖の駅整備事業・空間イメージ



サインタワー② (大阪方面へ向かう車線)



サインタワー① (京都方面へ向かう車線)